

1956

企画展

その時

東

どう変わった？

京

は

1961

1979

～1964オリンピックの前後～

2021年7月20日[火] - 9月26日[日]

地図と測量の科学館

茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内

開館時間 9:30-16:00 入場無料

休館日 毎週月曜日(祝日の時は順次翌日)

TEL 029-864-1872 <https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



【交通案内】 <https://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場(建築研究所・下妻駅行)乗車約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス
研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス(土日・祝日運行)
- ・TX研究学園駅からつくばバス
(吉沼シャトル)乗車約15分「国土地理院・つくば警察署」下車
- ・無料駐車場あり(大型可)

開催にあたって

企画展 その時東京はどう変わった？

ー1964 オリンピックの前後ー

■あいさつ

1964年（昭和39年）、日本の首都東京でアジア初の夏季オリンピックが開催され、大会には94の国と地域の代表が参集しました。この大会を着実に成功させたことで日本は、戦後19年目にして、戦禍からの復興を世界に示すことができたといえます。開催前の日本の目立ったインフラは、当時、世界一の高さのテレビ塔東京タワーくらいのものでした。開催にむけて、世界初の高速鉄道である東海道新幹線、首都高速道路、東京国際空港（羽田空港）ターミナルビル増築・滑走路の拡張、東京モノレールなどが次々と整備され、世界の建築史に名を残すような屋内外の競技場が完成しました。その後、日本は、このオリンピックを機に右肩上がりの高度成長を加速させました。

この企画展では、そんな時代背景の東京を地図や空中写真から振り返り、どう変わっていったのかをわかりやすく展示・紹介します。